

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
(支援2：高度情報専門人材の確保に向けた機能強化に係る支援)【大学】
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	九州工業大学		
設置区分	国立	学校種	大学
都道府県	福岡県	事業期間	令和6年度～令和12年度
申請区分	大学（一般枠）	改組内容	研究科等の設置・増員
事業計画名	九州工業大学教育DX：情報学と工学と社会が一体となって育む北部九州の高度情報専門人材		

2. 事業概要

本学情報工学府では、R4改組によって、修士課程220名（+25）及び博士課程20名（+6）の規模で、情報学×工学による情報人材育成を推進している。本事業では、この大学院教育を社会（産学・地域・国際）が参画する実践的な取り組みに拡大するとともに、大学院を成長4分野に再編かつ修士課程をさらに20名増員して240名とし、北部九州地域における高度情報専門人材を大学と社会が一体となって育成する。特に、産業界における技術習得や地域における高大接続支援、他大学や外国人学生との文理融合型の協働学習などの大学と社会が連携して実施する新たなPBLを設定し、多様な社会で生き抜く情報技術者の育成を目指す。この取り組みを実現するために、本学飯塚キャンパスにDX教育棟（仮称）をラーニングコモンズとして整備し、本学と外部機関が協働して大学院教育を行う。本事業によって北部九州における半導体関連産業や金融・流通分野等への情報技術者の供給が促進される。

3. 情報系組織

情報系組織の設置・増員計画（赤字は事業対象組織）

課程	組織名	入学定員		設置・増員等時期	設置等後の 主な学位分野
		事業開始時	事業終了時		
博士	情報工学府	20	20	-	工学関係
	計	20	20	増員数	0
修士	情報工学府	220	240	R8増員	工学関係
	計	220	240	増員数	20
学士	情報工学部	445	445	-	工学関係
	計	445	445	増員数	0

大学全体の収容定員に占める情報系組織の収容定員の割合

	博士課程	修士課程	大学院計
増員前 (R6.4.1時点)	25.6%	35.5%	33.9%
増員後	25.6%	37.5%	35.7%
増分	+0.0%	+2.0%	+1.8%

事業計画名 九州工業大学教育DX:情報学と工学と社会が一体となって育む北部九州の高度情報専門人材

基本情報	
改組内容	研究科等の設置・増員
所在地	福岡県飯塚市(飯塚キャンパス)
増員する情報系組織名(修士)	大学院情報工学府
入学定員増数及び増員時期(修士)	【R8増員】改組前220名 → 改組後240名

<社会や地域のニーズ・課題>

- ☆ 北部九州のDX人材(金融・流通、半導体関連産業等)の育成
- ☆ 地域社会と大学が連携した潜在的理系人材や理系女子の発掘
- ☆ 2040年を見据えた社会連携による大学院教育の推進

<研究科等の体制強化の概要・コンセプト・特徴など>

- ☆ 大学院をAIを中心とする成長4分野に再編
- ☆ 産業界が参画する教学PDCAサイクルの構築と実践
- ☆ DX教育リソース(教育設備・特任教員・支援スタッフ)の整備

<教育内容・育成する人材像>

【人材像】 多様な社会で生き抜く力を持つ情報技術者

【教育内容】 数理・データサイエンス・AI科目の必修化
主専門+副専門による出口の広い専門教育
グローバル人材育成のための社会(産学・地域・国際)連携教育

<女子学生、社会人学生、留学生等の確保>

【女子学生】 中高一貫女子校との連携による理系女子生徒の発掘

【社会人】 産学連携企業からの社会人博士・修士の受け入れ

【留学生】 国際連携大学の拡大と英語のみで修了可能なコースの強化

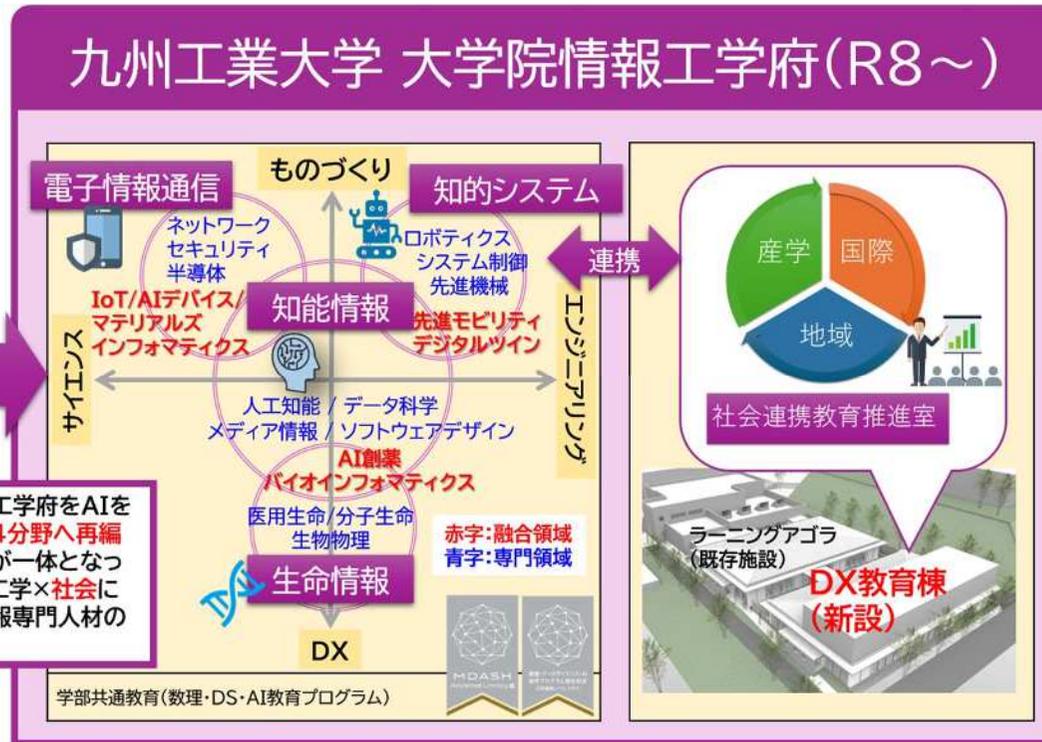
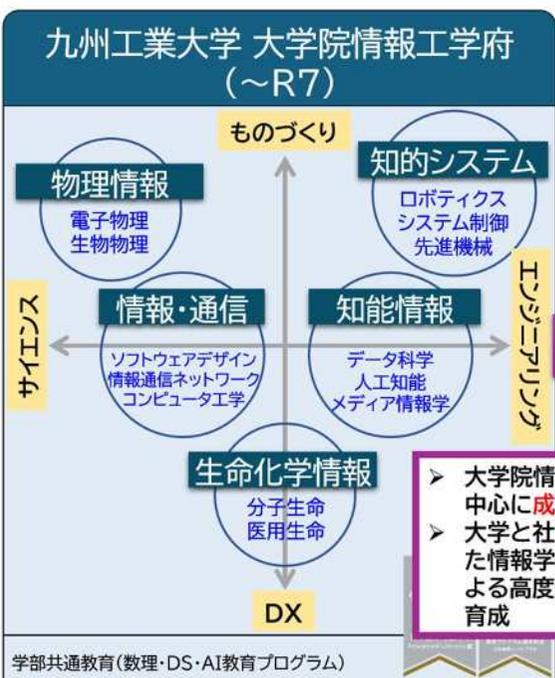
<初中段階・他大学・高専・企業・自治体等との連携>

【産学】 九州半導体人材育成等コンソーシアムや金融・流通産業

【他大学】 近畿大学産業理工学部(飯塚市)、APU(別府市)

【自治体】 飯塚市を中心とする北部九州自治体

【初中段階】 福岡県内の中高一貫校(筑紫女学園、筑陽学園、中村学園)



- DX人材の育成
- 産業界ニーズの把握

産学連携教育

- 教材提供
- 社会人学生
- 企業ビッグデータ活用

- 地域課題の解決
- 潜在的理系人材の発掘

地域連携教育

- 理系女子育成
- 情報教員育成
- 小中高大連携
- 地域大学間連携

- 国際交流の促進
- 人材ニーズの把握

国際連携教育

- 国際協働演習
- 国際連携講義
- 人材供給